

大商大サッカー部
【昭和28年 創部】
輝かしい歴代戦績



関西学生リーグ

1

部昇格

21年ぶり

古豪復活へ

サッカー部

後期リーグ最終節まで1部自動昇格争いに絡んだ大商大。しかし、最終節で近畿大に逆転負け。遠のいた昇格への望みをつなぐべくプレーオフに回り、迎えた最終戦で再び近畿大と対峙した。背水の陣で挑んだ一戦、大商大は後半79分、執念の一撃で昇格の扉をこじ開けた。勝利の瞬間、ピッチは歓喜と感動に包まれた。

川田

アシスト王

走り勝つ

競り勝つ

拾い勝つ

フェアプレー賞(ペーダー杯) 受賞

熾烈な自動昇格争い

通年順位の上位2校が1部リーグへ自動昇格となる関西学生サッカー2部リーグ。前期を首位で折り返した大商大は、後期もセットプレーを武器に昇格争いに食らいつづいた。最終節、大商大対近畿大、びわこ成蹊スポーツ大対立命館大の試合が、同時にキックオフ。この4校の結果によって、1部自動昇格の行方が決まる大一番となった。

執念のプレーオフ

1部10位の京都橘大、2部3位の近畿大、

勝利に加え得点が求められる大商大だった。前半を0-0で折り返す。後半開始早々、FW川田文晴(公共4・和歌山北)のアシストからMF木下留己(公共2・岡山芸館)が先制ゴールを奪う。が、後半74分にPKで追い付かれ、さらにアディショナルタイムで逆転を許し、試合終了。これで後期5位と順位を落とし、その結果、通年4位に後退。自動昇格の道を閉ざされ、プレーオフの険しい道を歩むことになった。

2部4位の大商大による三つ巴のプレーオフ。第2戦で京都橘大と対戦した大商大は五分五分にゲームを進めるが、後半79分に失点。しかし、最後まで諦めずに攻め続け、後半アディショナルタイム4分で意地の同点劇を演じ、昇格への望みをつないだ。

続く第3戦は、大商大のホームで近畿大と対戦。大阪商業大学高等学校・大阪商業大学界高等学校の両校サッカー部員をはじめ、多くの卒業生や保護者が応援に駆け付け、グラウンドは過去最高の熱気に包まれた。第1戦で京都橘大と近畿大が引き分けていたため、第3戦の勝者が1部へ上がることに。主将の川田は「気負わずに1年間やってきたことを信じて、応援してくれている人たちに恩返しをしよう」と仲間を激励した。

前半終了間際MF下柿元通斗(公共3・大阪信愛学院)のFKからMF大屋麻尋(公共2・長崎総合科学大学附属)がヘディングゴールで先制。しかし、後半序盤に同点に追いつかれ、後期リーグ最終節と同じ展開に。観客からは「点取られんな」の合唱が響いた。それでも集中を切らさず、後半79分にDF中尾拓真(公共4・和歌山北)のアシストからDF佐藤翔(経営3・清風)が決勝ゴールを決め、

躍進・挑戦

今季、大商大サッカー部は「躍進」をスローガンに掲げ、その言葉通りの1年となった。川田は「この昇格はみんなの力が合わさった結果」と語り、全員でつかった昇格であることを強調した。出場機会が少ない中でも努力を続け、準備を怠らなかつた4年生の姿勢と築かれた信頼関係が勝利を呼び込み、

2部リーグ	前期 1位	第1節	第2節	第3節	第4節	第5節	第6節	第7節	第8節	第9節	第10節	第11節
	勝ち点22 7勝3敗1分 19得点9失点	関国大	近畿大	立命大	大教大	びわこ大	大産大	神院大	龍谷大	大阪大	追大	天理大
		●	●	●	○	○	○	△	○	○	○	○
		0-1	0-1	1-4	2-1	2-1	4-0	0-0	2-1	2-0	3-0	3-0
2部リーグ	後期 5位	第1節	第2節	第3節	第4節	第5節	第6節	第7節	第8節	第9節	第10節	第11節
	勝ち点18 5勝3敗3分 21得点12失点	天理大	大教大	関国大	大産大	龍谷大	追大	神院大	大阪大	立命大	びわこ大	近畿大
		○	○	○	○	1-2	1-0	△	△	●	○	●
		5-0	5-2	4-0	1-2	1-0	2-2	1-1	0-0	0-3	1-0	1-2
2部リーグ	通年 4位	1部12位	第1戦	第2戦	第3戦	1部昇格						
	勝ち点40 12勝6敗4分 40得点21失点	1部12位	京都橘大vs近畿大	大商大vs京都橘大	大商大vs近畿大	勝ち点4						
		△	△	△	○	1勝0敗1分 3得点2失点						
		1-1	1-1	1-1	2-1							

2部リーグ優秀選手賞(DF)
中尾 拓真(公共4・和歌山北)
2部リーグ優秀選手賞(MF)
下柿元 通斗(公共3・大阪信愛学院)
2部リーグ優秀選手賞(FW)
2部リーグアシスト王
川田 文晴(公共4・和歌山北)



第103回関西学生サッカーリーグプレーオフ(1部-2部)
11月23日・30日・12月7日 大商大人工芝グラウンド他

第34号		
3面	2面	1面
2025! 秋季/通年 リーグ戦・入替戦 特集		
6面	5面	4面
ボクシング部	日本拳法部	硬式野球部
		ウエイトリフティング部
		空手道部
		体育会本部 NEWS 他

福岡ソフトバンクホークス

鈴木豪太



「サイドスローという投げ方で、毎日投げられるタフさと強質なピッチングが自分の持ち味です。『今日も豪太、明日も豪太』と選ばれる投手になることが目標です。先発でも中継ぎでも、与えられた場面で自分のピッチングをききたいです。特にリリーフの勝ちパターンで、毎試合投げられるような存在を目指します。開幕一軍、そして新人王を目標に頑張ります」(鈴木)

真っ向勝負



「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

- ◆柔道部
「関西学生柔道団体別選手権大会(男子44回)」男子73kg級 2回戦敗退 榎本 瑠星(経営3)
男子81kg級 2回戦敗退 榎本 連紀(公共3)
男子81kg級 2回戦敗退 関谷 章了(経営1)
「第56回大阪府下大学対抗柔道大会」団体2部 準優勝
- ◆ソフトテニス部
「第79回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」男子の部 3回戦敗退
「第80回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会」男子の部 3回戦敗退 松山 勇人(公共4)・富田 和磨(経営4)
3回戦敗退 竹内 晴紀(経営3)・北川 勝斗(経営3)
3回戦敗退 小笠原 健斗(経営2)・西村 裕亮(公共3)
3回戦敗退 西川 南都(経営2)・高木 健真(公共3)
「第67回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会」男子の部 1回戦敗退 竹内 晴紀(経営3)
- ◆卓球部
「第58回会長杯争奪卓球大会(団体の部)」男子団体 準優勝
「第11回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)」第2ステージトーナメント戦 1回戦敗退 住友 祐介(経営4)
第2ステージトーナメント戦 1回戦敗退 佐々 祐介(経営4)
- ◆バスケットボール部
「関西学生バスケットボール秋季トーナメント」2回戦敗退
◆バレーボール部
「PhitenCUP関西バレーボール大学男女選手権大会」男子トーナメント 2回戦敗退
「ミキブルースーパーカレッジバレー」秩父宮賜杯第78回全日本バレーボール大学選手権大会男子」決勝トーナメント戦 1回戦敗退
- ◆カヌー部
「第62回関西カヌースプリント選手権大会 兼近畿高等学校カヌー新人選手権大会」男子K-1(500m) 予選2組6位 高橋 晋(経営2)
「第11回オール西日本大学カヌー選手権大会(個人の部)」予選2組6位 高橋 晋(経営2)
- ◆硬式野球部
「関西学生テニス選手権大会予選」男子シングルス 3回戦敗退 大東 莉功(経営3)
3回戦敗退 山本 晋士(経営2)
女子シングルス 2回戦敗退 原田 瑠子(公共2)
2回戦敗退 宮崎 珠希(公共2)
男子ダブルス 2回戦敗退 上田 将太(公共4)・ゲン ホンフー(経営2)
2回戦敗退 大東 莉功(経営3)・市野 頼星(経営1)
2回戦敗退 高木 健真(経営2)・森本 真央(経営2)
1回戦敗退 宮崎 珠希(公共2)・村上 尊吾(経営1)
- ◆準硬式野球部
「第43回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会」決勝トーナメント ベスト4 全関西選抜チーム 外野手 藤原 澈佑(公共4)
- ◆ボウリング部
「第64回関西学生ボウリング選手権大会」男子マスターズ級 15位 土橋 遼(経営3)
男子5人チーム級 12位 堀上 和馬(経営2)・伊田 祐輔(経営2)・岡田 晋(経営1)・黒見 凌大(経営1)・小高 大(営)
男女混合2人チーム級 4位 大阪商業大学・土橋 遼(経営3)・見原 武雄(経営3)
- ◆陸上競技部
「第1回学連競技会」男子100m タイムレース35組1位 見原 武雄(南1)
男子400m タイムレース15組2位 見原 武雄(南1)
男子4×400mリレー タイムレース3組3位 石田 侑輝(経営4)・中本 勇輝(経営1)・水井 康輝(経営3)・見原 武雄(南1)
「関西学生陸上競技種目別選手権大会兼第47回関西学生選成選手権大会 兼関西学生新人陸上競技選手権大会兼デイルイトリレー」男子種目別4×100mリレー 予選敗退(予選2組6位) 豊田 瑛斗(経営3)・石田 侑輝(経営4)・水井 康輝(経営3)・田中 悠陽(公共1)
男子種目別4×400mリレー 予選敗退(予選3組7位) 石田 侑輝(経営4)・中本 勇輝(経営1)・豊田 瑛斗(経営3)・水井 康輝(経営3)

関西学生男子団体

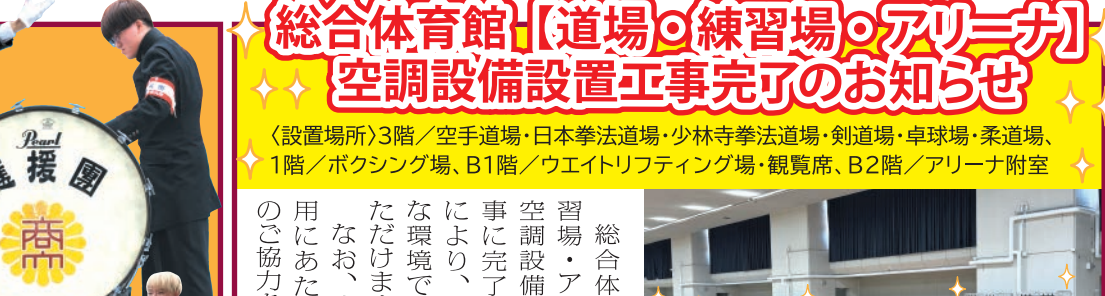
「努力と結果で長く信頼を勝ち取りたい」と意気込んだ。力強く今後の抱負を語る姿には、プロとしてのたくましさが見え、気迫溢れる投球でこれからは勝利をつかみとってほしい！
文/木村龍馬 (公共2・鹿島学園)



「サイドスローという投げ方で、毎日投げられるタフさと強質なピッチングが自分の持ち味です。『今日も豪太、明日も豪太』と選ばれる投手になることが目標です。先発でも中継ぎでも、与えられた場面で自分のピッチングをききたいです。特にリリーフの勝ちパターンで、毎試合投げられるような存在を目指します。開幕一軍、そして新人王を目標に頑張ります」(鈴木)

「第72回関西学生ウエイトリフティング選手権大会(男子)」11月29日・30日 タクダムはびきのコロシアム
「第71回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(Ⅱ部)」4位
65kg級 優勝 佐藤 颯紀(経営3・仙台大学附属明成)
88kg級 優勝 杉谷 優太(公共4・星槎国際)
「レディースカップ第17回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会」一般77kg級 9位 樋谷 かなん(公共2・東田)
「第72回関西学生ウエイトリフティング選手権大会(男子)」3位
60kg級 準優勝 高橋 幸祐(公共3・東田)
65kg級 優勝 佐藤 颯紀(経営3・仙台大学附属明成)
79kg級 4位 河原 圭汰(公共4・若狭東)
+110kg級 優勝 大内 皓太(公共4・東田)

「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

- ◆柔道部
「関西学生柔道団体別選手権大会(男子44回)」男子73kg級 2回戦敗退 榎本 瑠星(経営3)
男子81kg級 2回戦敗退 榎本 連紀(公共3)
男子81kg級 2回戦敗退 関谷 章了(経営1)
「第56回大阪府下大学対抗柔道大会」団体2部 準優勝
- ◆ソフトテニス部
「第79回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」男子の部 3回戦敗退
「第80回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会」男子の部 3回戦敗退 松山 勇人(公共4)・富田 和磨(経営4)
3回戦敗退 竹内 晴紀(経営3)・北川 勝斗(経営3)
3回戦敗退 小笠原 健斗(経営2)・西村 裕亮(公共3)
3回戦敗退 西川 南都(経営2)・高木 健真(公共3)
「第67回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会」男子の部 1回戦敗退 竹内 晴紀(経営3)
- ◆卓球部
「第58回会長杯争奪卓球大会(団体の部)」男子団体 準優勝
「第11回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)」予選2組6位 高橋 晋(経営2)
「第11回オール西日本大学カヌー選手権大会(個人の部)」予選2組6位 高橋 晋(経営2)
- ◆硬式野球部
「関西学生テニス選手権大会予選」男子シングルス 3回戦敗退 大東 莉功(経営3)
3回戦敗退 山本 晋士(経営2)
女子シングルス 2回戦敗退 原田 瑠子(公共2)
2回戦敗退 宮崎 珠希(公共2)
男子ダブルス 2回戦敗退 上田 将太(公共4)・ゲン ホンフー(経営2)
2回戦敗退 大東 莉功(経営3)・市野 頼星(経営1)
2回戦敗退 高木 健真(経営2)・森本 真央(経営2)
1回戦敗退 宮崎 珠希(公共2)・村上 尊吾(経営1)
- ◆準硬式野球部
「第43回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会」決勝トーナメント ベスト4 全関西選抜チーム 外野手 藤原 澈佑(公共4)
- ◆ボウリング部
「第64回関西学生ボウリング選手権大会」男子マスターズ級 15位 土橋 遼(経営3)
男子5人チーム級 12位 堀上 和馬(経営2)・伊田 祐輔(経営2)・岡田 晋(経営1)・黒見 凌大(経営1)・小高 大(営)
男女混合2人チーム級 4位 大阪商業大学・土橋 遼(経営3)・見原 武雄(経営3)
- ◆陸上競技部
「第1回学連競技会」男子100m タイムレース35組1位 見原 武雄(南1)
男子400m タイムレース15組2位 見原 武雄(南1)
男子4×400mリレー タイムレース3組3位 石田 侑輝(経営4)・中本 勇輝(経営1)・水井 康輝(経営3)・見原 武雄(南1)
「関西学生陸上競技種目別選手権大会兼第47回関西学生選成選手権大会 兼関西学生新人陸上競技選手権大会兼デイルイトリレー」男子種目別4×100mリレー 予選敗退(予選2組6位) 豊田 瑛斗(経営3)・石田 侑輝(経営4)・水井 康輝(経営3)・田中 悠陽(公共1)
男子種目別4×400mリレー 予選敗退(予選3組7位) 石田 侑輝(経営4)・中本 勇輝(経営1)・豊田 瑛斗(経営3)・水井 康輝(経営3)

武道系クラブ

「努力と結果で長く信頼を勝ち取りたい」と意気込んだ。力強く今後の抱負を語る姿には、プロとしてのたくましさが見え、気迫溢れる投球でこれからは勝利をつかみとってほしい！
文/木村龍馬 (公共2・鹿島学園)



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16

武道系クラブ

「努力と結果で長く信頼を勝ち取りたい」と意気込んだ。力強く今後の抱負を語る姿には、プロとしてのたくましさが見え、気迫溢れる投球でこれからは勝利をつかみとってほしい！
文/木村龍馬 (公共2・鹿島学園)



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16

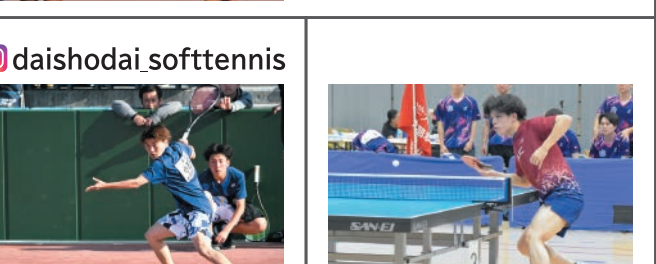
団体球技クラブ

「努力と結果で長く信頼を勝ち取りたい」と意気込んだ。力強く今後の抱負を語る姿には、プロとしてのたくましさが見え、気迫溢れる投球でこれからは勝利をつかみとってほしい！
文/木村龍馬 (公共2・鹿島学園)



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16



その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

その他の主な大会結果
(2025年7月23日~12月21日)
▶全ての試合結果は、大阪商業大学課外活動WEBページへ随時掲載

「第66回全関西大学空手道選手権大会」男子団体組手1部競技 3位(ベスト4)
男子団体組手 優秀選手 高井 諒介(公共4・倉敷)
女子団体組手競技 ベスト8
「第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 空手道競技」成年男子組手個人軽量級 2回戦敗退 小峰 斗志(経営1・小松大谷・石川県)
「第69回全日本大学空手道選手権大会」男子団体組手競技 2回戦敗退
女子団体組手競技 ベスト16

全日本学生 男子団体 4位



男泣き

第70回全日本学生拳法選手権大会
12月7日 河内長野市立市民総合体育館

6月に横浜市で行われた日本拳法全国大学選抜選手権大会では、男子団体4位に泣いた大商大日本拳法部。次こそと悲願の優勝を目指し、全日本学生拳法選手権大会に挑んだ。

1回戦、大阪公立大には4勝2敗1分と接戦の末に勝利。続く2回戦、愛知学院大戦では5勝2敗で快勝。そして、準々決勝は2年前の同大会でまさかの1回戦で敗退に追い込まれた因縁の慶応義塾大との対戦となった。先鋒、次鋒と勝利し順調に思われたが、三鋒、中堅、三将が敗れ、後がなくなる。しかし、副将・嶋章伍(公共3・桜丘)が堪え、勝負の行方は大将・寄川龍人(公共2・大阪商業大学堺)に委ねられた。寄川はテンポよく相手を牽制し、連続で一本を取り、見事雪辱を果たした。

この勝利で士気が一気に上がり、迎えた準決勝の相手は、前回大会優勝校の明治大。緊張感漂う中、勝負の火蓋が切られた。先鋒の寄川は強気に攻め、面蹴りで一本を獲得するも、すぐに一本を取り返され引き分け。その後は相手の圧倒的な力に屈し、5連敗敗退はついたといえ、大将・西村洸ガブリエル(公共4・桜丘)は「負けてたまるか」という気迫で立ち向かい、開始わずか20秒で胴蹴りを決め、雄たけびを上げた。しかし、残り1分のところで一本を取られて、引き分けに終わった。3位決定戦では中央大と対峙するも、力及ばず勝5敗で敗れ4位。またも表彰台に嫌われた。

試合後、男泣きに泣いた主将の西村は「優勝できる選手層だったのに負けたのはもったいなかったが、いい経験になった。これをチャンスと捉えてほしい」と後輩の背中を押した。文/木村龍馬 (公共2・鹿島学園)

「日本拳法総合選手権大会」
(第65回全日本拳法個人選手権大会)
成年男子の部
2回戦敗退 東屋 良介(公共2・関西福祉科学大学)
2回戦敗退 寄川 龍人(公共2・大阪商業大学堺)

「第40回全日本学生拳法個人選手権大会」
男子の部
4回戦敗退 西村 洸ガブリエル(公共4・桜丘)
4回戦敗退 清水 真喜(経営2・奈良南)
4回戦敗退 山本 琉聖(経済1・関西福祉科学大学)

「第70回全日本学生拳法選手権大会」
男子団体 4位

滋賀県で開催された国民スポーツ大会に、大商大ボクシング部から2名が本選出場を果たした。ボクシング競技が2大会ぶりに復活し、選手たちにとって待ちに待った舞台となった。

成年男子バンタム級では、森藤彰一(公共1・関西)が岡山県代表で出場し、初戦が不戦勝で2回戦進出となった。2回戦、森藤は序盤から果敢に攻めるもうまくかわされ、パンチを多くもらい1ラウンド、RSC負けでベスト8に終わった。森藤は「何もできなかった。とても悔しい」と言葉少なに語った。

全日本 ライトミドル級 ベスト8



川村

ボクシング部



川村

国スポ ライトヘビー級 3位

炸裂

第79回国民スポーツ大会
(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 ボクシング競技
9月29日～10月3日 東近江市能登川アリーナ

「第79回国民スポーツ大会」
(わたSHIGA輝く国スポ)正式競技 ボクシング競技
成年男子バンタム級 ベスト8 森藤 彰一(公共1・関西・岡山県)
成人男子ライトヘビー級 3位(ベスト4) 川村 陸(公共3・札幌工業・北海道)

「全日本ボクシング選手権大会」
男子バンタム級 1回戦敗退 森藤 彰一(公共1・関西)
男子ライト級 1回戦敗退 木下 杏氏(経営2・和歌山工業)
男子ライトミドル級 ベスト8 杉山 律希(公共1・菊華)



森藤

バンタム級 ベスト8

大商大スポーツ DAISHODAI SPORTS

発行 大阪商業大学 学生支援課 体育館事務室

印刷 共同精版印刷株式会社

我楽多

私はいまだかつて体育会系クラブ生が跳んでいる瞬間を見たことがありません。取材していただき、今まで知らなかった競技に魅力を感じることができ、選手が戦う姿に惹き込まれていました。多くの方々に大商大体育会系クラブを応援していただけたらと思います。これからも大商大スポーツ新聞を通して魅力を伝えていきます。

(掛口美穂・商3)

硬式野球部と日本拳法部を担当した。会場で感じた勝利への執念は忘れ難く、全力でぶつかり合う選手たちが輝いて見えた。他の部活の取材にも行きたいと思うし、選手の頑張りをもっとたくさんの人に知ってもらいたい。第76代広報部長として、大商大体育会系クラブ全体を盛り上げていこうと思う。

(木村龍馬・公共2)

私にとって今号のサッカー部が初撮影・初取材。撮影しながら、選手が全力でプレーする姿、仲間を懸命に応援する姿に思わず「青春」を感じた。試合の熱さに取り込まれ、気付けば自分も声を出して応援していた。1面での現地の白熱した空気や選手のカッコ良さを、そのままリアルにお届けできていけらう。

(伊田望・商1)

初めての撮影・原稿執筆が今号3面のバレーボール部になった。1点入るたびに会場の熱気が上がっていくのを肌で感じ、仲間たちと励まし合っている姿に感動した。これからも広報部として、大商大スポーツに興味を持っていただけるような記事を書くようにしたい。

(沼田凌弥・経済1)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校